

2022年度 水俣学講義 その3

水俣病の患者・被害者はどれだけいるのか

- 1) 正しい解答はない
- 2) およそ10万人は下らない

新規発生はないが
潜在被害者が少しずつ表に出てきている

水俣病認定申請の状況

公害健康被害補償法に基づく

(単位：人)	申請数	取下	申請実数	処分済			未処分
				認定 (現存者)	棄却	小計	
熊本県	21,373	6,759	14,614	1,786 [304]	11,784	13,570	1,249
鹿児島県	8,981	4,232	4,749	492 [117]	3,719	4,211	773
新潟県・新潟市	2,565	327	2,191	704 [168]	1,382	2,086	152
(小計)	32,872	11,318	21,554	2,982	16,885	19,867	2,174
国（臨時措置法）	483	79	404	33	340	373	31

2015年11月末、熊本は12月。申請総数は日々変化しています。

水俣病特措法救済策対象者数

(単位：人)

一時金等の給付申請者数					切替者数(※ 1)	総数
	① 一時金等 対象該当者数	② 療養費 対象該当者数	③ ①、②のい ずれにも非該 当者数	④ 合計 (①+②+③)		
熊本県	19,306	3,510	5,144	27,960	14,797	42,757
鹿児島県	11,127	2,418	4,428	17,973	1,998	19,971
新潟県	1,811	85	77	1,973	29	2,002
						64,730

2010年水俣病特措法に基づく医療給付申請者とその判定結果
2012年7月締め切り

なぜ、現在も水俣病の被害があるのか

■ 水俣病の新規発生？

1971年 100名余り

現在 認定患者 2287名（新潟含め2300名）

被害救済給付対象者数 6万人あまり

推定合計 10万人を下らない（95年の政治解決、潜在数）

熊本県 382人、鹿児島県 1078人 （2022年8月現在）

■ 新たな水俣病患者とはなのか

- 「潜在していた」人が名乗りを上げた（申請手続きをした）

■ 認定申請は、なぜ、現在も増え続けるのか

なぜ潜在しているのか 水俣病に対する差別と潜在患者

- 病者に対する差別
 - 差別されてきた水俣病患者
 - 結婚、就職、
- 水俣病に対する差別と偏見
 - ⇒、2010年6月のサッカー事件
- 水俣病の映像
- 水俣病で何を習ってきたか

水俣病差別発言事件

- 起きたこと（2010年7月）

水俣の中学生に差別的発言

水俣市の中学生が6月上旬、県内の他市の中学校とのサッカーの練習試合中、相手側の生徒から「水俣病、触るな」と差別的な発言を受けていたことが、14日分かった。

両市の教育委員会など。

とによると、試合の模様をテレビで見た後、水俣市の中学生が水俣病を正しく理解できず、差別発言をしたことが、両市で確認された。

「水俣病、触るな」

その後、両市の教育委員会が水俣市を訪れ、関係者に謝罪したほか、中学校の保健室長が水俣病に関する講話を同校の生徒に読み聞かせた。また、水俣病教育に関する研修会を開催した。

また、県教委が水俣市を訪れ、関係者に謝罪したほか、中学校の保健室長が水俣病に関する講話を同校の生徒に読み聞かせた。また、水俣病教育に関する研修会を開催した。

同校の校長は「今回の出来事は、生徒に對し水俣病の表面的な知識しか伝えられていたことがわかれ、教師の責任」と語り、8月には同校の教師らが水俣市を訪れ、水俣病の現地学習に取り組み予定。

サッカーの試合 指摘で謝罪

理解進める講話や研修も

新聞報道 (2)

・ 1997年6月 サッカー大会 (人吉)

平成 9 年 (1997 年) 6 月 8 日 日曜日 社会 3 版 24

人吉市で五月下旬に開かれた同市サッカー協会招待中学生大会で、鹿兒島、宮崎県から参加したチームの選手が水俣市の二校の生徒に「水俣病にかかるなよ」と発言、同県チームの校長らが水俣市の関係者らに謝罪していたことが七日までに分かった。

水俣市教委などによると、同大会は五月二十四、二十五日に開かれ、熊本、鹿兒島、宮崎の各県から十五チームが参加。二会場に分かれて試合があった。このうち、同市のチームと対戦した宮崎県のチームの選手一人が試合終了後のあいさつの際、「水俣病にかかるなよ」と発言。また別の会場では鹿兒島県のチームの選手一人が同市のチームとの試合中「水俣病」「チビ」「雑魚」などと声を出していったという。

大会後、鹿兒島県北薩教

「水俣病にかかるなよ」

招待サッカー大会で 水俣の生徒に発言
宮崎、鹿兒島の中学生

教育事務所に匿名の抗議の電話があったため、同県中学校の校長、本人らが相手校、同市教委を訪れ謝罪した。同市教委は同校に、瑞穂副校長やビデオなどを渡し「水俣病についての正しい認識を生徒たちに教えてほしい」と要請。また、同市でも臨時の小中学校長会を開き、水俣病問題を正しく伝えることができる子どもを育てる教育の充実を強調したという。

宮崎県のチームと対戦した同市の中学校校長は「発言した生徒は十分反省しているようだった。今後、再試合をしよう」と生徒同士で話しかけた。田村耕紀・同市教育長は「市内の小中学校だけでなく対外的にも、機会あるごとに（水俣病への正しい理解を）伝えていきたい」とそれだれ話している。

何故起きたのか（外からの眼）

- 水俣病を見る眼こそが問われている
- 誰が中傷されているのか・何が差別されているのか
- 水俣出身者なのか
- 水俣病患者なのか

水俣病は終わっていない

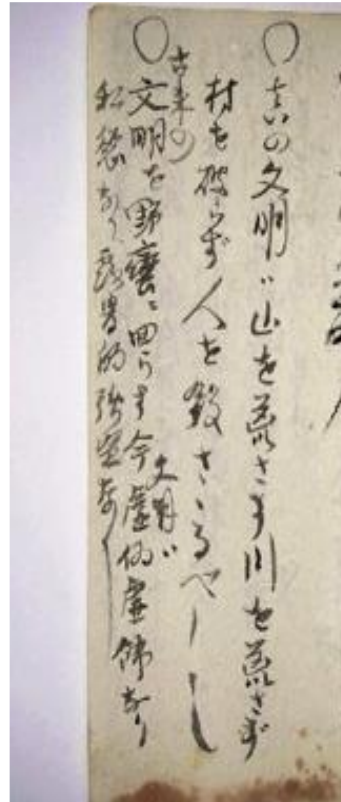


熊本地方裁判所前の患者集会

真の文明とは

田中正造1912(明治
45)年6月17日の日
記

栃木県佐野市
郷土博物館蔵



真の文明は
山を荒さず
川を荒さず
村を破らず
人を殺さざるべし。

水俣学とは 新しい学問のモデル

〜既存の装置（枠組み）を超える

開かれた学問〜

権威主義、官僚主義、保守主義、不正義と

対決する革新的・変革の学問を目指す。

地域で、地域を学習して地域に返す。

（原田正純：水俣学講義）

水俣病患者の上村好男さんの言葉

▶ 「歴史を語るに、郷土というものには冷たい。過去を知らない人生は寂しいものであります。」

- ➡ 過去に学ぶこと、そこにはその歴史を生きてきた人たちがいる
- ➡ 今に学ぶこと
- ➡ あやまちを認めること

水俣学の取り組み

- (1) 水俣病は社会を映す鏡：水俣病とはどういう病いか、歴史と現在に学ぶ.
- (2) 現場を大切に：そして、自分たちの足下に水俣を被害者を中心に考える：差別を考えたい.
- (3) 専門の狭い枠に閉じこもらないで広く見よう.
- (4) 国境の壁を越えよう：世界で公害が起きた水俣病もおきている.

そして、水俣病事件がいまも問題になっているのはなぜか
→患者の訴えが続いていることに耳を傾けた

人類の負の遺産としての公害、
水俣病を将来に活かす

第一班
水俣病被害の
多様性研究

第二班
住民主体の
地域社会の再構築

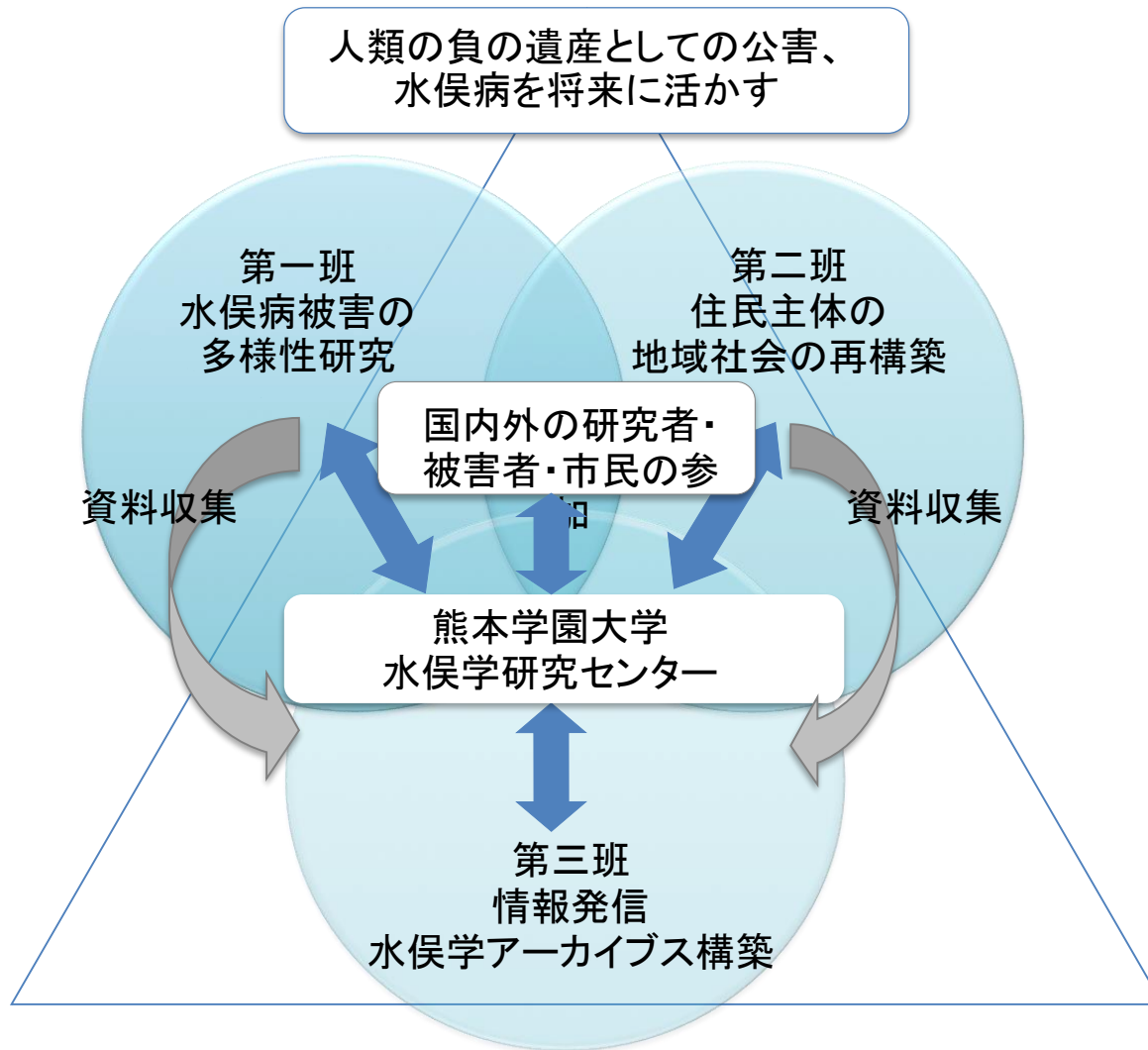
国内外の研究者・
被害者・市民の参
加

資料収集

資料収集

熊本学園大学
水俣学研究センター

第三班
情報発信
水俣学アーカイブス構築



過去の失敗を将来に活かすために：いのちの尊厳

▶ いのちを大事にすること。いのちとは人の人生そのもののこと。ともに分かち合ういのち、ともに生きるいのち。いのちの尊厳には上下はない。

▶ しかし時代の波に巻き込まれて、いのちの価値を見失うときに、公害は起きるのだろう。

まとめ

水俣学のWEBサイトで

水俣学アーカイブをみよう
水俣学講義を聞こう

水俣に学び、自分を振り返ろう。

